

# 令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第20回北信越ワークショップin新潟	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

## 1. 事業目的

本事業は、地域風土として共通要素の多い北信越地域(新潟・富山・石川・福井・長野5県)において、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」の実現を目指して、行政、研究者、工事施工者などが一堂に会し議論する取り組みである。今回は、越後平野の地域資源を活用した持続可能な生態系ネットワークの形成に向けた取り組みの現状とその構成要素となるグリーンインフラの考え方を理解し、今後の課題・方向性を見出すことを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会、北信越現地ワークショップin新潟実行委員会  
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会、新潟県河川協会、(一社)新潟県建設業協会、新潟県土地改良事業団体連合会  
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、農林水産省北陸農政局、新潟県、新潟市、新潟日報社、日刊建設通信新聞社、(公財)リバーフロント研究所、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(公社)日本技術士会北陸支部、新潟県土木施工管理技士会、NPO法人水環境技術研究会、NPO法人信濃川大河津資料館友の会、NPO法人新潟水辺の会、新潟県ビオトープ管理士会

## 3. 事業実施概要

テーマ: 「生態系ネットワークとグリーンインフラ」  
 ◆ワークショップ(オンライン併催)  
 日時: 令和4年10月14日(金) 10:00~17:00  
 場所: 新潟ユニゾンプラザ  
 プログラム:  
 ・基調講演「生態系ネットワークとは何か?生態系ネットワークが目指すところ」  
 講師: 関 健志(日本生態系協会 専務理事)  
 ・一般講演9題  
 講師: 新潟国際情報大学2題、出雲観光協会、新潟県水鳥湖沼ネットワーク、滋賀県立大学、北陸地方整備局河川部、新潟県佐渡地域整備部、佐渡市農業政策課、新潟市環境政策課  
 ・総合討論 コーディネーター: 関島 恒夫(新潟大学農学部 教授、実行委員長)  
 参加者: 106名(うちオンライン参加18名)  
 ◆フィールドワーク  
 日時: 令和4年10月15日(土) 9:00~17:00  
 コース: 信濃川やすらぎ堤・関屋分水路、佐潟、鳥屋野潟、福島潟 など  
 参加者: 33名

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域という広域的視点において地域課題に関する情報共有を図り、北信越地域及び流域全体の連携強化が期待される。大学等の研究者をはじめ、国・県の行政担当者、建設コンサルタント、市民団体などが一堂に集い、まさに産学官民が一体となって、応用生態工学や多自然川づくりとの関係、今後期待される役割への認識が共有されるとともに、人的交流の促進に寄与している。また、参加者にとって「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の維持」の意識が高まり、国や自治体の施策立案にもつながり、有益な取り組みとなっている。

